WIRED

取扱説明書
INSTRUCTION
ソーラークロノグラフ

説明書V176

WIRED 説明書 V176

このたびは弊社ウオッチをお買いあげいただきありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご愛用くださいますようお願い申しあげます。
なお、この取扱説明書はお手もとに保存し、必要に応じてご覧ください。

1305

※ 金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。

※ 商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、水分などが付着してさび発生の原因となります。

弊社製品についての修理その他のご相談は、「お買い上げ店」で承っております。なお、ご不明の点は下記へお問い合せください。

全国共通フリーダイヤル 0120-612-911

お客様相談室
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル
〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウオッチ株式会社
本 社 〒105-8467 東京都港区虎ノ門2-8-10
http://www.seiko-watch.co.jp/

■特長

この時計はストップウオッチ機能を搭載したソーラーウオッチです。
・1／20秒単位を計測する本格ストップウオッチ機能を搭載しています。
・ソーラーパネルで受けた光を「電気エネルギー」に換え、時計を動かしています。

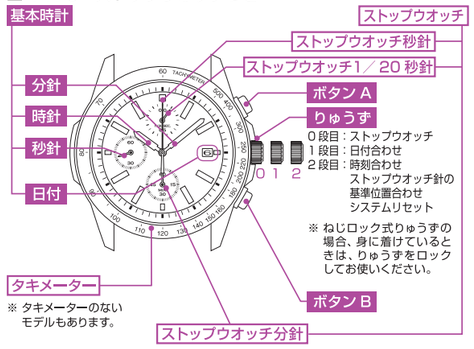
※ クロノグラフとはストップウオッチ機能のついた時計のことです。

■ ストップウオッチ機能・・・ 1／20秒単位で計測できます。計測時間は60分です。1／20秒単位、秒単位、分単位で運針する3本の針で表示します。60分経過すると自動的に停止します。

■ ソーラー充電機能・・・・・・ 文字板の下にあるソーラーセルで、光を電気エネルギーに換え、充電します。
フル充電で約6ヶ月間動きつづけます。

■各部の名称と主なはたらき

■ V176：ストップウオッチつき



■りゅうずについて

りゅうずを時計に押し付けながら右回りに回した際、回せない場合は「ねじロック式りゅうず」です。ねじロック式りゅうずの場合は、りゅうずを左回りに回してロックをゆるめてから操作を行います。操作終了後は、りゅうずを押し付けながら右に回しロックします。

■時刻・日付の合わせかた

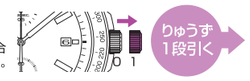
■ 時刻と日付の合わせかた

※ 日付のみ修正をするときは、「月末の日付修正について」を参照してください。

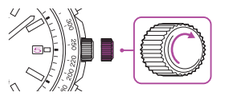
① 時計が動いていることを確認する
秒針が 1 秒ごとに運針していることを確認してください。
2 秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。

② 時計の針が午後 9 時～午前 1 時でないことを確認する
時計の針が午後 9 時～午前 1 時のときは、りゅうずを 2 段目まで引き出して回し、一旦時刻を午前 1 時よりも進めておきます。
※ 日付を回す歯車を、きちんとかみ合わせるための動作です。
※ 時針を2周させるごとに、日付が「1日ぶん」修正されます。りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前0時です。午前・午後を確認して合わせてください。

③ りゅうずを 1 段引く
※ 時計は動き続けます。
※ ねじロック式りゅうずの場合は、ロックを外してください。

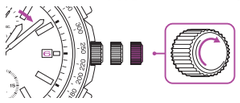


④ りゅうずを矢印の方向に回し、日付を前日に合わせる
※ りゅうずを矢印と反対方向に回しても日付は動きません。
例：合わせたい日付が「6日」のときは「5 日」に合わせます。



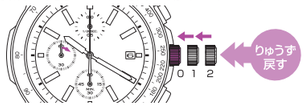
⑤ 秒針が 0 秒位置になったときにりゅうずを 2 段目まで引く
秒針が 0 秒位置で止まります。

⑥ 時計回りに針が進むように、矢印の方向にりゅうずを回し、合わせたい日付になるまで針を進める



⑦ 時計回りに針が進むようにりゅうずを矢印の方向に回し、基本時計の時刻を合わせる
午前・午後を確認して時刻を合わせてください。
※ 正確な時刻に合わせるために、合わせたい時刻の 4 分～5 分先まで進めてから針を戻して合わせてください。

⑧ 時報などに合わせてりゅうずを押し戻す
操作は完了です。時計が動きはじめます。



※ ねじロック式りゅうずの場合はロックをしてください。

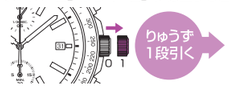
■ 月末の日付修正について

この時計の日付表示は、1日～31 日となっています。小の月（2、4、6、9、11 月）が終わった翌日などに、日付修正を行ってください。
※ 日付のみ修正をするときも、この操作を行ってください。

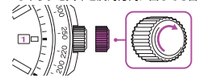
① 時計が動いていることを確認する
秒針が 1 秒ごとに運針していることを確認してください。
2 秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。

② 時計の針が午後 9 時～午前 1 時でないことを確認する
午後 9 時～午前 1 時のときは、「時刻と日付の合わせかた」で合わせるか、時間帯を変えて合わせてください。

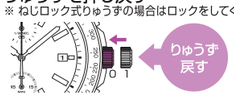
③ りゅうずを1段引く
※ 時計は動き続けます。
※ ねじロック式りゅうずの場合は、ロックを外してください。
例：「31 日」から「1 日」に修正するとき



④ りゅうずを矢印の方向に回し、日付を合わせる
※ りゅうずを矢印と反対方向に回しても日付は動きません。



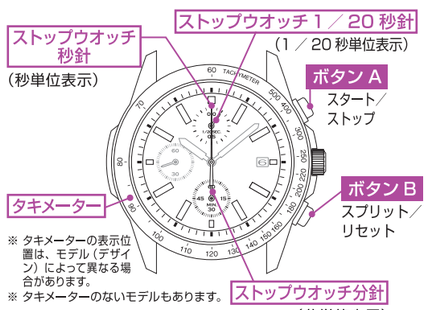
⑤ りゅうずを押し戻す
※ ねじロック式りゅうずの場合はロックをしてください。



■ストップウオッチ機能について

1／20 秒単位で最大 60 分まで計測できます。60 分経過後は、0 分 0 秒位置に針が停止し計測がリセットされます。

■ ストップウオッチ機能部の名称とはたらき



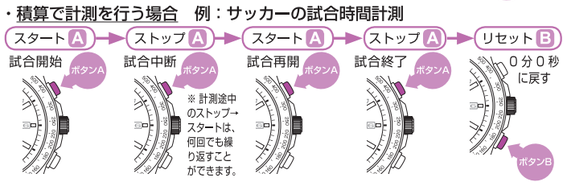
〈ストップウオッチ 1／20 秒針の動きについて〉
・この針は約 10 分間連続して運針すると、自動的にその動きを止めます。
・自動的に止まった後、スプリットおよびストップの操作があると、計測した時間を示します。
・スプリット解除後や再スタート後では、9 分連続運針後ストップウオッチ秒針が 0 秒を通過するタイミングで、自動的に動きを止めます。
・スタート後、「ストップ、再スタート」を繰り返す、または「スプリット、スプリット

■ストップウオッチの使いかた

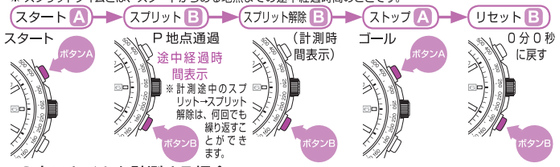
※ 秒針が 2 秒ごとに動いているときは、ストップウオッチの操作をしても作動しません。

・通常の計測　例：5000 メートル走

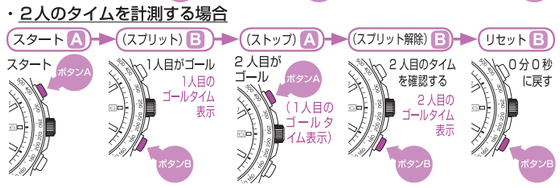
・積算で計測を行う場合　例：サッカーの試合時間計測



・スプリットタイム（途中経過時間）の計測　例：5000 m走
※ スプリットタイムとは、スタートからある地点までの途中経過時間のことです。



・2人のタイムを計測する場合



■ストップウオッチ針（1／20 秒・秒・分）の基準位置を合わせる

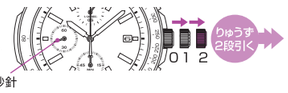
ストップウオッチをリセットしてもストップウオッチ針が 0 分 0 秒位置に停止しないときは、基準位置がずれていることが考えられます。ストップウオッチ針（1／20 秒・秒・分）の基準位置は、それぞれ「00 秒、0 秒、0 分」です。基準位置を合わせることで、正しい計測結果が表示されます。

基準位置がずれる理由として、以下のことが考えられます。
・強い衝撃を受けたとき：落とす、強くぶつけるなどの衝撃によってずれることがあります。
・磁気の影響を受けたとき：磁気を発するものに近づけることでずれることがあります。

※ ストップウオッチ針の基準位置合わせを行うと時刻がずれます。基準位置合わせを行ったあとは基本時計を合わせなおしてください。

① 時計が動いていることを確認する
秒針が 1 秒ごとに運針していることを確認してください。
2 秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。

② りゅうずを 2 段引く
秒針が止まります。
※ ねじロック式りゅうずの場合は、ロックを外してください。



③ ストップウオッチ 1／20 秒針が動くまでボタン A を押す（3 秒）
ストップウオッチ 1／20 秒針が 1 回転し、「ストップウオッチ 1／20 秒針」の基準位置合わせモードに入ります。
※ ストップウオッチ 1／20 秒針がどの針か分からないときは、「各部の名称と主なはたらき」をご確認ください。

④ ボタン B を押してストップウオッチ 1／20 秒針を「00」にする

1／20 秒送り	1 回押して離す
連続送り	2 秒以上押し続けると動き出し、離すと止まる

※「00」の場合は、❺の操作へ

⑤ ストップウオッチ秒針が動くまでボタン A を押す（3 秒）
ストップウオッチ秒針が 1 回転し、「ストップウオッチ秒針」の基準位置合わせモードに入ります。

⑥ ボタンBを押してストップウオッチ秒針を「0 秒」にする

1秒送り	1 回押して離す
連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、離すと止まる

※「0 秒」の場合は、❼の操作へ

⑦ ストップウオッチ分針が動くまでボタン A を押す（3 秒）
ストップウオッチ分針が 1 回転し、「ストップウオッチ分針」の基準位置合わせモードに入ります。

⑧ ボタンBを押してストップウオッチ分針を「0 分」にする

1分送り	1 回押して離す
連続送り	2秒以上押し続けると動き出し、離すと止まる

※「0 分」の場合は、❾の操作へ

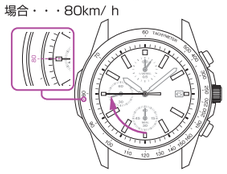
⑨ 基本時計を合わせる
基準位置合わせを行うと基本時刻の時刻がずれます。
基本時計の時刻を合わせたら操作は終了です。

⑩ りゅうずを押し戻す

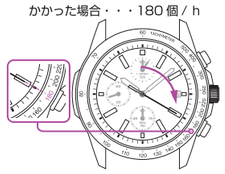
■タキメーター（TACHYMETER）の使いかた

タキメーター（TACHYMETER）の数字を読み取ることで、時速や単位時間あたりの出来高などが簡単に分かります。

・時速の計測
① 1km 走るのに要した時間を計測する（1 分以内）
② ストップウオッチ秒針が指しているタキメーターの数字を読み取る
例：1km 走るのに 45 秒かかった場合・・80km/ h



・1 時間あたりの出来高
① 製品 1 個が出来上がるのに要した時間を計測する（1 分以内）
② ストップウオッチ秒針が指しているタキメーターの数字を読み取る
例：製品 1 個が出来上がるのに 20 秒かかった場合・・180 個 / h



■充電について

■ 充電のしかた

文字板に光をあてて充電してください。
快適にご使用いただくために、十分な充電をすることをおかけしましょう。
以下の状況では充電不足によりエネルギーが切れ、時計が止まる可能性が高くなります。
・時計が衣類のそでの中に隠れている
・光のあたりにくい環境での使用や保管が続く

※ 充電の際は、時計が高温にならないようにご注意ください。（作動温度範囲は− 10℃～＋ 60℃です。）
※ 使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、右表をめやすに十分な充電をしてください

■ 充電にかかる時間のめやす

以下の時間をめやすに、充電を行ってください。

照 度 lx（ルクス）	光 源	環 境（めやす）	フル充電まで	確実に 1 秒運針になるまで	1 日ぶん動かすには
700	蛍光灯	一般オフィス内	−	60 時間	2.5 時間
3000	蛍光灯	30W 20cm	110 時間	13 時間	33 分
1 万	蛍光灯	30W 5cm	30 時間	3.5 時間	9 分
1 万	太陽光	くもり	30 時間	3.5 時間	9 分
10 万	太陽光	快晴（夏の直射日光下）	5 時間	36 分	2 分

「確実に 1 秒運針になるまで」の数値は、止まっていた時計に光をあてて、確実に 1 秒運針になるまでに必要な充電時間のめやすです。この時間まで充電しなくても 1 秒運針になりますが、その状態ではすぐに 2 秒運針になることがあります。この時間をめやすに充電してください。

※ 充電に必要な時間は、モデルによって若干異なります。

■エネルギーについて

エネルギー残量が少なくなると、秒針が2秒ごとに動く「2 秒運針」になります。
その後、エネルギーが切れると時計が停止します。
「2 秒運針」になったときは、十分な充電をしてお使いください。

・2 秒運針中は、ストップウオッチの操作しても作動しません。（故障ではありませんので、ご安心ください。）
・ストップウオッチ計測中に 2 秒運針となった場合は、ストップウオッチ針が 0 分 0 秒位置に戻り計測がリセットされます。

■使用電源について

この時計には、一般の酸化銀電池とは異なる専用の二次電池を使用しています。
二次電池とは、乾電池やボタン電池のような使い捨ての電池とは異なり、充電と放電をしながら繰り返し使用可能な電池です。
長期的な使用や使用環境により、容量や充電効率が少しずつ低下する場合があります。
また、長期間使用すると、機械部品の磨耗や汚れ、潤滑油の劣化等によって持続時間が短くなる場合があります。性能が低下し始めたら修理にお出しください。

⚠ 警告

■ 二次電池交換時のご注意
・二次電池は取り出さないでください。
二次電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
・一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などのおそれがあります。

■使用上のご注意とお手入れについて

●製品取扱上のご注意

⚠ 警告

・次のような場合、ご使用を中止してください。
○時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
○バンドのピンが飛び出してきた場合
※すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。
・この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください。
スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウオッチをご使用ください。

⚠ 注意

・以下の場所での携帯・保管は避けてください。
○揮発性の薬品が発散しているところ
（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
○5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ
○高湿度なところ
○磁気や静電気の影響があるところ
○ホコリの多いところ
○強い振動のあるところ
※電池式の場合は、電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。
・アレルギーやかぶれを起こした場合はただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。
・直接蛇口から水をかけることは避けてください。
水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。
・水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください。
時計内部に水分が入ることがあります。
※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。
・水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。
防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。
・入浴やサウナの際はご使用を避けてください。
蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。
・その他のご注意
○商品の分解・改造はしないでください。
○乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
○使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
○提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
衣類や手、首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

●防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を裏ぶたでご確認の上ご使用ください。

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境で、あれば使用できます。 ⚠警告 水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で 5 気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10(20) BAR	日常生活用強化防水で10(20) 気圧防水です。	空気ボンベを使用しないスキンダイビングに使用できます。

●バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。
長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。
金属バンド
・ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
・水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。
（時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。）
残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
・チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
・万が一、ピンが飛び出している場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。
皮革バンド
・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
・水がかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
・時計本体が日常生活用強化防水10(20)気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。
ポリウレタンバンド
・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また色をおこします。
・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
（時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。）
・弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。
かぶれやアレルギーについて
バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

●お手入れについて

日ごろからこまめにお手入れしてください
・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
※非防水・日常生活防水の場合はおやめください。

●点検調査のための分解掃除（オーバーホール）について

・長くご愛用いただくために、3年～4年に1度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が摩耗し、止まりにいたることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の侵入など防水性能が損なわれる場合があります。点検調整のための分解掃除（オーバーホール）は、「純正部品」にご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
・点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

■製品仕様

型式番号	V176
1. 基本機能	基本時計 3 針（時・分・秒針）日付表示 ストップウオッチ針（1／20 秒・秒・分針）
2. 水晶振動数	32，768Hz（Hz＝1 秒間の振動数）
3. 精度	平均月差 ±15 秒以内（気温5℃～35℃において腕に着けた場合）
4. 作動温度範囲	−10℃～＋60℃
5. 駆動方式	ステップモーター式 4 個
6. 使用電源	専用二次電池：1 個
7. 持続時間	約6ヶ月(1日の使用条件が、ストップウオッチ1時間)
8. 電子回路	発振、分周、駆動、充電回路：IC 1 個

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※ 過充電防止機能

フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。

■保証と修理について

・修理や点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
・保証内容は保証書に記載したとおりです。
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。
・この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがあります。また、ケースごとの一式交換や、修理が困難な場合は同等品との交換になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。